

2020 年度版
あいち ICT 戦略プラン 2020
年次レポート
(2019 年度分)

2021 年2月

第1章	あいち ICT 戦略プラン 2020 の概要と年次レポートの趣旨	1
第2章	進捗状況と今後の展開	3
第3章	2019 年度の主な施策の実施状況	7
(参考)	取組を紹介した Web サイトの一覧	25

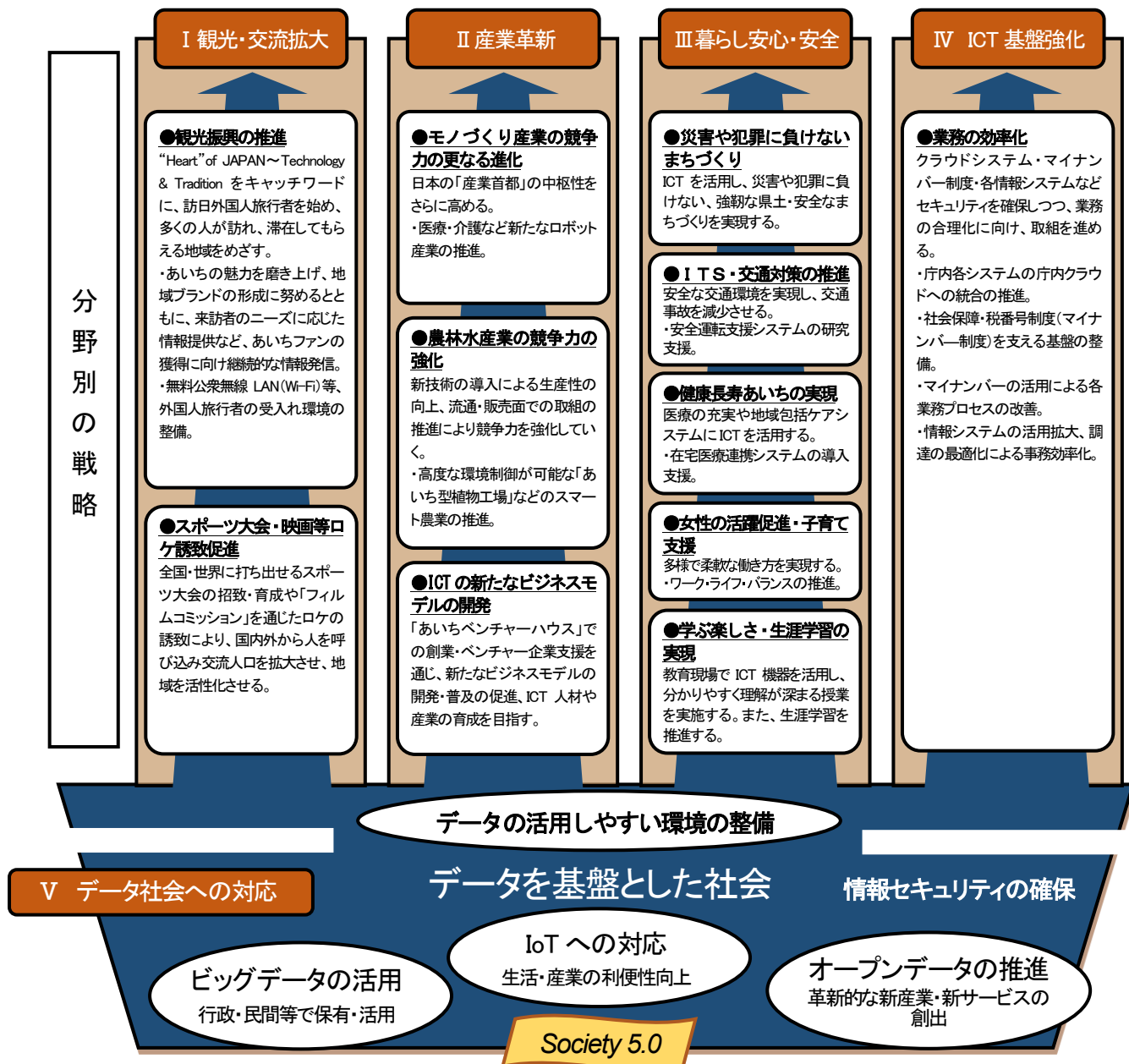
第1章 あいち ICT 戦略プラン 2020 の概要と年次レポートの趣旨

1 あいち ICT 戦略プラン 2020 の概要

ICT 環境の、急速かつ大きな変化に的確に対応し、県が戦略的に展開する施策を ICT の活用で達成していくため、愛知県では 2016 年（平成 28 年）3 月に「あいち ICT 戦略プラン 2020」（以下「ICT 戦略プラン」という。）を策定しました。「あいちビジョン 2020」の「めざすべき愛知の姿」の実現を支えていくことを基本方針とし、各計画で定めた具体的な目標の達成を支援することで、「あいちビジョン 2020」の「日本一の元気を暮らしの豊かさに」の実現を目指します。

戦略の方向性として、**本県が取り組むべき 4 つのテーマ（観光・交流拡大、産業革新、暮らし安心・安全、ICT 基盤強化）**が抱える課題について、最新の ICT の活用による課題解決を図るため、戦略的に施策を展開することとしています。また、この戦略的取組の前提となる「**データ社会への対応**」についても併せて整理することとしています。

《戦略の方向性のイメージ》



2 年次レポートの趣旨

本県が取り組むべき4つのテーマとデータ社会への対応における主な取組を報告するとともに、今後の計画策定や計画を進める上での課題を確認し、計画を進行管理するために、年度毎に年次レポートを作成することとしています。

本書は、2019年度についての年次レポートです。

○ 年次レポートで取り上げている取組の詳細について

2章及び3章で取り上げている取組の中で、関連するWebサイトが公開されている取組は、本文中と巻末にWebサイトのURLとQRコードを掲載しています。

取組の詳細について御興味を持たれた場合は、掲載されたWebサイトをご覧ください。

WebブラウザにURLを入力していただくか、スマートフォンのカメラ等でQRコードを読み取ることで、それぞれのWebサイトにアクセスできます。

第2章 進捗状況と今後の展開

1 2019年度の特徴

ICT 戦略プランの4年目となり、多くの事業が進展しました。

I 観光・交流拡大分野

「**愛知高原・奥三河 PR 動画**」作成の取組や、「愛知県のスポーツ大会等を発信する Web サイト、SNS 等の運用」等、Web サイトと SNS や動画を複合的に活用して情報発信を行い、**来県者数や観光消費の増加等**に貢献しました。また、「県内観光施設のバリアフリー情報の発信」による**ユニバーサルツーリズム**の取組や「**外国人旅行者向け無料公衆無線 LAN 接続簡易化アプリ「AICHI Free Wi-Fi Connect」**¹の開発を行う等、来県者にとって**安全性と利便性の向上**を目指した取組を行いました。

II 産業革新分野

『**知の拠点あいち**』を中心とした**産学行政の連携による共同研究開発プロジェクトの推進**の実施や、「**あいち STEM 能力育成事業**」において県内の高校生を対象に企業による ICT スキルに関する講座の実施などにより、**産業の競争力強化**に貢献しました。

また、「**グルメレビューサイトに愛知県とのタイアップページを開設**」及び「**インバウンド向けに県の食材を PR する Web サイトの開設**」などの事業を通して、国内外に向けて**農林水産物のブランド力強化**を推進しました。

III 暮らし安心・安全分野

健康管理支援アプリ「あいち健康プラス」の配信、「認知症 VR 体験会」を開催するなど、ICT を活用して県民の健康づくりや病気への理解と関心を高める取組を行い、「**健康長寿あいち**」の実現を推進しました。

また、**LINE 公式アカウント「愛知県－新型コロナ対策パーソナルサポート」**を開設し、新型コロナウイルス感染症に関する情報提供を行いました。

さらに、「**水防テレメータの更新**」、「**サイバー犯罪対策通信**」の配信及び「**自動運転の社会実装実証事業**」、「**エコ活動啓発動画**」作成等の取組を行い、**防災・防犯・交通対策・環境保全**など様々な分野で県民の**暮らし安心・安全**に貢献しました。

IV ICT 基盤強化分野

庁内システムの更なる経費削減を推進するため、既存システムの庁内クラウドへの移行を進めました。また、マイナンバー制度では年金関係の情報連携が運用開始となり、庁内の関係システムの対応を行いました。

また「**音声認識システム**」の本格導入、**行政事務への RPA 試行導入、タブレット端末を用いた会議のペーパーレス化の支援**を行い、ICT の活用による**業務効率化**を推進しました。

V データ社会への対応分野

「**愛知県オープンデータカタログ**」サイトの**提供データ拡充**等の取組を行いました。

2 2016年度から2019年度の総括

ア 総括

2019年度は、4つのテーマとデータ社会への対応として、169項目の施策展開の方向性を設定しました。テーマごとの取組状況と対象施策を表1に、2016年度から2019年度を取組所属による自己評価を表2にまとめました。

表1については、169項目のうち24項目は2018年度までに完了しています。残りの145項目のうち、129項目は順調に進展しており、6項目で事業は完了しました。新規の施策展開は、検討段階のものを含めて10項目ありました。

※1 取組状況は、「新規」＝新規の取組、「進展」＝継続して進展、「2019完了」＝2019年度に取組完了・終了、「2018完了」＝2018年度までに取組完了・終了の項目数を表します。

※2 ★は後継事業があります。

(表1)

テーマ	取組状況	項目数	対象施策
Ⅰ 観光・交流拡大	新規	3	ユニバーサルツーリズムの推進 外国人旅行者向け無料公衆無線LAN 接続簡易化アプリ「AICHI Free Wi-Fi Connect」の配信 等
	進展	33	三河山間地域の観光PR動画の公開 等
	2019完了	1	「G20 愛知・名古屋外務大臣会合推進協議会」Web サイト運用
	2018完了	5	三河山間地域の魅力やイベント情報発信(★) 三河湾の島々の魅力発信(★) 等
Ⅱ 産業革新	新規	2	ICTを活用した環境制御によるキュウリ栽培 等
	進展	28	ICT活用による建設産業支援 あいちのスマート林業の推進 等
	2018完了	6	あいち型植物工場の普及支援(★) 等
Ⅲ 暮らし安心・安全	新規	3	健康マイレージ連携アプリ「あいち健康プラス」の配信 認知症VR体験会 LINE公式アカウント「愛知県-新型コロナ対策パーソナルサポート」開設
	進展	47	県庁職員のモバイルワーク及び在宅勤務の試行運用開始 等
	2019完了	2	自動運転の実証実験(オンデマンド配車等)(★) 水防テレメータ機器更新
	2018完了	8	ヘリコプターテレビ電送システム更新(★) 県立学校の光回線化 等
Ⅳ ICT基盤強化	新規	1	財務システム機器の庁内クラウド移行
	進展	16	音声認識システムを全所属を対象に本格導入 RPAの試行導入を実施 会議のペーパーレス化支援 等
	2019完了	2	建設行政情報システムの庁内クラウドへの移行 等
	2018完了	5	次期庁内クラウドの検討 等
Ⅴ データ社会への対応	新規	1	ビッグデータを活用した東三河地域の観光客の動向調査
	進展	5	オープンデータカタログの充実 等
	2019完了	1	ビッグデータを活用した東三河地域の観光客の動向調査
合計			新規10項目、進展129項目、2019完了6項目、2018完了24項目

(表2)

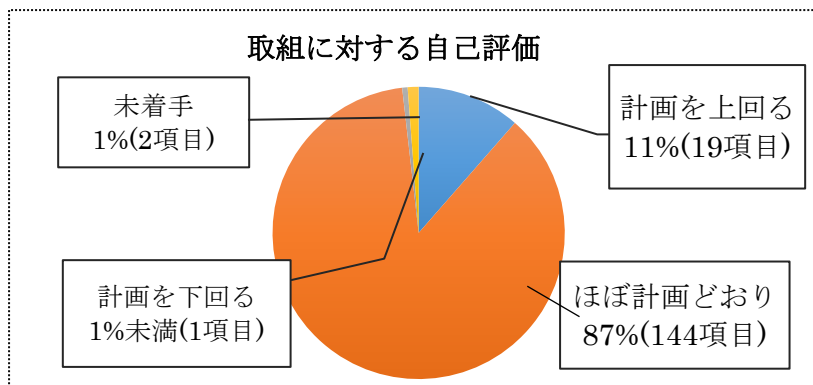


表2については、期間中の実績について「計画を上回る」と評価した取組が19項目、「ほぼ計画どおり」と評価した取組が144項目ありました。また、計画を下回る取組が1項目、未着手の取組が2項目でした。

(2019年度に検討を開始したため評価出来ない3項目を除く)

イ 完了・終了した主な取組

(ア) 「G20 愛知・名古屋外務大臣会合推進協議会」Web サイト運用

2019年11月22日、23日に開催されるG20外務大臣会合の成功に向け、愛知県、名古屋市、名古屋商工会議所及び中部経済連合会等を構成団体とする「G20 愛知・名古屋外務大臣会合推進協議会」において、専用Webサイトを開設しました。会合情報等を発信することにより、開催機運の醸成を図るとともに、本県の魅力を世界に向けて発信しました。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kokusai/2019g20aichi-nagoya.html>)



(イ) 水防テレメータ機器更新

テレメータシステムとは、ある地点の測定値を遠隔地点に設置した受信器に送って記録させるシステムをいいます。得られたデータは愛知県の河川情報に反映されます。

機器更新によって、処理機器・通信ネットワーク等の情報基盤整備の強化とシステムの集約化によるコスト削減が行われました。

(<https://www.kasen-aichi.jp/>)



ウ 計画を下回る取組

○ 県内のスタートアップ企業支援

スタートアップの創出を促進するため、起業時に要する経費に対する補助金（起業支援金）の支給のほか、経営面での課題に対する伴走支援を行い、事業の成長をバックアップしました。

エ 未着手の取組

(ア) ビッグデータの活用

ビッグデータを利活用することで、地域の課題解決、新たな価値の創造、サービスの提供などができるよう、民間企業・大学などと連携・協力してデータの利用しやすい環境づくりを進めていきます。

(イ) IoTへの対応

県が実施している、雨量などに関する観測データ、各種のインフラ、施設の状況のデータ収集などにおいても、関連機器の活用を通じて、対応を進めていきます。

3 2020年度以降の展開

○ 次期ICTプラン（仮称）の策定について

現行の「あいちICT戦略プラン2020（以下「現プラン」という）」の計画期間（2016-2020）は今年度が最終年度であり、来年度以降の施策を盛り込んだ次期ICTプランを策定します。

ICT技術の進展や社会経済状況の変化、新たな政策課題の顕在化など、「あいちICT戦略プラン2020」策定時とは異なる状況も出てきていることから、2020年度以降の展開については、以下に述べる点に留意して取組を進めていく必要があります。

現プランが策定された2016年は、Society 5.0が提唱された第5期科学技術基本計画が発表された年であり、**この5年間はSociety 5.0の実現に向かってICTの技術は飛躍的に向上し、社会生活に影響を与えています。**

家庭においては、「AIスピーカ」や「IoT家電」等が普及し、技術的には、「自動運転」や「ドローン宅配」の実証実験が繰り返され、「空飛ぶ車」の開発も進められています。



また、今年からサービス提供が開始された第5世代移動通信システムである**5Gは、高速大容量、高信頼かつ低遅延な無線通信、多数同時接続**といった特徴があり、**Society 5.0の実現にあたり必須の基盤**とも言われています。

一方、**行政の分野においては、2016年12月に制定された「官民データ活用推進基本法」**で、**オープンデータの推進や行政手続オンライン原則化**など、データの有効活用に関することが定められました。また、**2018年1月に決定された「デジタル・ガバメント実行計画」**では、**国における行政デジタル化の三原則（「デジタルファースト」、「ワンスオンリー」、「コネクテッド・ワンストップ」）**が示されました。

この三原則は2019年5月に制定された「デジタル手続法」によって法制化されており、都道府県にはデジタル手続に関して努力義務が課せられています。

さらに、今年1月から発生した新型コロナウイルス感染症拡大防止のため様々な対策が取られる中で、リモートワークやオンライン会議の導入、オンライン授業の実施など、社会全体のデジタル化にさらに拍車がかかっています。

こうした状況の中、今年6月の第32次地方制度調査会答申では、地方行政のデジタル化が挙げられ、同7月の骨太の方針でも行政や社会のデジタル化への集中投資が挙げられているように、**国においても、Society 5.0に向けた社会全体のデジタル化や、デジタル・ガバメント実現に向けて急速に動いています。**

次期ICTプランでは、このような状況を踏まえ、情報セキュリティの確保、システムの一層のクラウド化や、押印の省略、添付書類の省略等を含む**行政手続きのオンライン化等**に取り組み、**業務の効率化や県民や事業者の皆様の利便性の向上や負担軽減を図っていきます。**次期ICTプランの計画期間は2025年までの5年間とし、中間年で見直しをします。

また、次期ICTプランでは昨年度策定した「愛知県官民データ活用推進計画」を包含して一体のものとします。

第3章 2019年度の主な施策の実施状況

本章では「ICT戦略プラン」で掲げた展開する施策について、2019年度に実施した主な取組の内容を報告します。

取組の詳細について御興味を持たれた場合は、掲載されたWebサイトをご覧ください。

I 観光・交流拡大

今後、急速な人口減少・高齢化が見込まれる一方、国内外から人を呼び込み交流人口を拡大することで、地域を活性化し、新たな産業や雇用の創出につなげることが求められています。

地域ブランドを形成し、あいちファンの増加につなげるためには、本県固有の観光資源や文化・芸術・特産品などを、Webサイト、SNSなど多様な媒体を活用することにより、より充実した広報活動を実施する必要があります。また多くの外国人に対して本県観光地のPRを行うために、多言語での情報発信が求められています。

【ICT戦略プランの施策項目】

項目	施策の展開
1-1 観光振興の推進	・Webサイト、SNSによる観光関連情報の充実 ・外国人旅行者の受入環境整備 等
1-2 スポーツ大会・映画等口 ケ誘致促進	・スポーツ大会・合宿等の誘致 ・大規模イベントの誘致・開催 等
1-3 情報発信力の強化	・「ネットあいち」を始めとする、Webサイトの活用 ・デジタルサイネージなど多様なメディアの活用

【1-1 観光振興の推進】

Webサイト、SNSによる観光関連情報の充実

- 「愛知高原・奥三河の唄」スペシャル動画及び愛知高原・奥三河のPR動画の公開
(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/shichoson/aichikougenokumikawadougga.html>)

ご当地ソングで有名な芸人はなわさんとのコラボにより、地元応援ソング「愛知高原・奥三河の唄」のスペシャル動画を作成しました。

はなわさんが番組のロケで愛知高原・奥三河に訪れたことをきっかけに実現した今回の応援ソング作成では、愛知高原・奥三河の観光名所や特産品などのほか、“地元あるある”を盛り込んでいます。楽しい歌で愛知高原・奥三河の魅力を発信し、三河山間地域の活性化のための誘客を図りました。



動画の視聴回数（2019年10月～2020年3月5日時点）：3,047回



● ユニバーサルツーリズムへの取組

(<https://www.aichi-now.jp/>)

高齢の方や障害を持つ方を始め、誰もが旅行を楽しむことができるユニバーサルツーリズムに取り組むため、県内観光施設等のバリアフリー状況の実態調査を行いました。調査結果を観光HP「Aichi Now」に掲載し、情報発信を行いました。



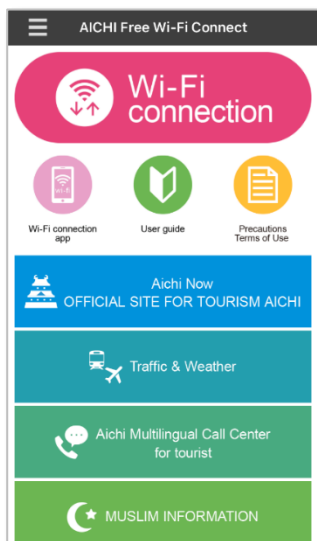
2019年度のWeb サイト閲覧件数
5,911,269 件



外国人旅行者の受入環境整備

● 外国人旅行者向け無料公衆無線 LAN 接続簡易化アプリ「AICHI Free Wi-Fi Connect」
(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kokusai-kanko/aichi-free-wifi-connect2019.html>)

増加を続ける外国人旅行者の受入環境整備の一環として、無料公衆無線 LAN の把握・接続を多言語で操作できるアプリケーションを開発しました。外国人旅行者に本県でストレスフリーに、快適に滞在してもらうとともに、災害時の安心・安全を支援することで、情報収集・情報発信を促し、一層の誘客の促進につなげます。



【1-2 スポーツ大会・映画等ロケ誘致促進】

スポーツ大会・合宿等の誘致

- 愛知県のスポーツ大会情報等を発信するWeb サイト、SNS 等の運用
(<http://aichi-sports.jp/>)

スポーツ大会などへの参加者・観戦者の利便性の向上のため、Web サイト「aispolweb」や、フェイスブック、ツイッターによる情報発信を強化し、スポーツ大会やプロスポーツ、実業団スポーツなどの情報を全国に向けて発信しました。

2019年度はラグビーワールドカップが開催され、選手の情報や開催地となった豊田市について積極的に情報を発信し、盛り上げを図りました。



2019年度のWeb サイト閲覧件数
168,322 件

大規模イベントの誘致・開催

- 「あいちトリエンナーレ 2019」の開催情報を発信
(<https://aichitriennale2010-2019.jp/>)

3年に1度、本県で開催する国内最大級の国際的な現代アートの祭典「あいちトリエンナーレ」の情報を、公式Web サイト、動画配信サイト、SNS を活用して発信しました。



情報発信数

Web サイト：180 ツイッター：8741※ フェイスブック：433 インスタグラム：557※ ※総累計数

【1-3 情報発信力の強化】

「ネットあいち」を始めとする、Web サイトの活用

- 「あいちの住みやすさ発信サイト」による魅力発信
(<https://www.pref.aichi.jp/chihoh-osei/sumiyasusa/index.html>)



2019年度のWeb サイト閲覧件数
36,247 件



他の大都市圏に比べた愛知の強みである「住みやすさ」について、これから居住地を選択していく東京圏の大学生などの若者層を中心に広くPRし、愛知への人口流入・定着を促進しました。

2019年度は、インスタグラム又はツイッターに投稿する「#一番住みたい愛知 SNS フォトコンテスト 2019」を開催しました。テーマである“愛知県の素敵なヒト・モノ・コト・バショ”に沿って、2,521 作品が投稿されました。

II 産業革新

日本の「産業首都」として、引き続きわが国の産業・経済を牽引していくためには、研究開発機能の強化により、産業を支える革新的技術のレベルを引き上げ、付加価値を高めていくとともに、新たなイノベーションを継続的に創出していくことが欠かせません。

県では、基金による支援を行うことで、自動車産業、航空・宇宙産業、ロボット産業の振興を図り、モノづくりの競争力を高めることで、新たな産業の創出につなげます。また、農林水産業やサービス業の分野についても、最新のICTの活用により、競争力を高めていくよう、成長を促していきます。

【ICT 戦略プランの施策項目】

項目	施策の展開
2-1 モノづくり産業の競争力の更なる進化	<ul style="list-style-type: none"> ・創業の支援、開発・立地の促進 ・モノづくり人材の育成 等
2-2 農林水産業の競争力の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・特産品のPR強化 ・効率的な森林整備 等
2-3 ICT の新たなビジネスモデルの開発・人材育成	<ul style="list-style-type: none"> ・IT 産業の支援・創業支援 ・ICT スキルを持つ人材の育成
2-4 商業の活性化	<ul style="list-style-type: none"> ・商店街情報の発信強化

【2-1 モノづくり産業の競争力の更なる進化】

創業の支援、開発・立地の促進

- 「知の拠点あいち」を中心とした産学行政の連携による共同研究開発プロジェクトの推進 (<http://www.astf-kha.jp/project/>)

「知の拠点あいち重点研究プロジェクト」は、オープンイノベーションにより、大学等の研究シーズを活用して県内主要産業が有する横断的な課題を解決し、新技術の開発・実用化、新たなサービスの提供、そして、次世代産業の創出を目指す産学行政連携の研究開発プロジェクトです。

2019年度から新たに始まったⅢ期のプロジェクトでは、モノづくり現場の設計・生産・検査から、農業・健康長寿等の幅広い分野において、AI・IoT・ビッグデータの活用を促進するとともに、ロボット高度化やエネルギー最適配分のための水素蓄電の技術開発に取り組みます。



①大規模材料データ及びCAEによる自動車向け設計生産技術
②2次電池の材料開発/寿命評価用データベース構築とAI/IoT 応用
③5G/AIを活用したロボットプラットフォームとロボットサービスの研究開発
④分野適応技術による自然言語処理技術のビジネス展開
⑤中小工場を再エネ化する水素蓄電・ネットワーク対応AIエンジン
⑥直流スマートファクトリー実現に向けた変換装置の開発
⑦農業ビッグデータ活用によるロボティックグリーンハウスの実現
⑧幸福長寿な暮らしをかなえる自然に活動的となる住まいの研究開発
⑨AIを用いた粉体原料の物性に関する予測システムの構築

モノづくり人材の育成

● 「あいちSTEM能力育成事業（技の探究講座）」の実施

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kotogakko/aitistem1.html>)

本県的高等学校では、我が国を牽引する「モノづくり産業」を担う高い科学技術力をもった人材の育成を進めていますが、近年の「若者の理系離れ」が懸念される中で、本県の高い科学技術力を将来にわたって維持・発展させていくためには、Science（科学）Technology（技術）、Engineering（工学）、Mathematics（数学）の4分野（STEM）に重点を置いた「モノづくり愛知の未来を担う理数工学系人材」を育成する教育力の一層の底上げを図る必要があります。

「あいちSTEM能力育成事業（技の探究講座）」では、モノづくりの技術・技能などの特定の分野に興味・関心と優れた資質をもつ生徒に対し、企業内の訓練施設において産業界のニーズを踏まえた高度で実践的な技術・技能を習得する講座を実施し、モノづくり人材の育成の取組を行いました。

「あいちSTEM能力育成事業」シーケンス制御講座参加人数：10名



建設産業のICT活用推進

ICT活用工事の普及の取組

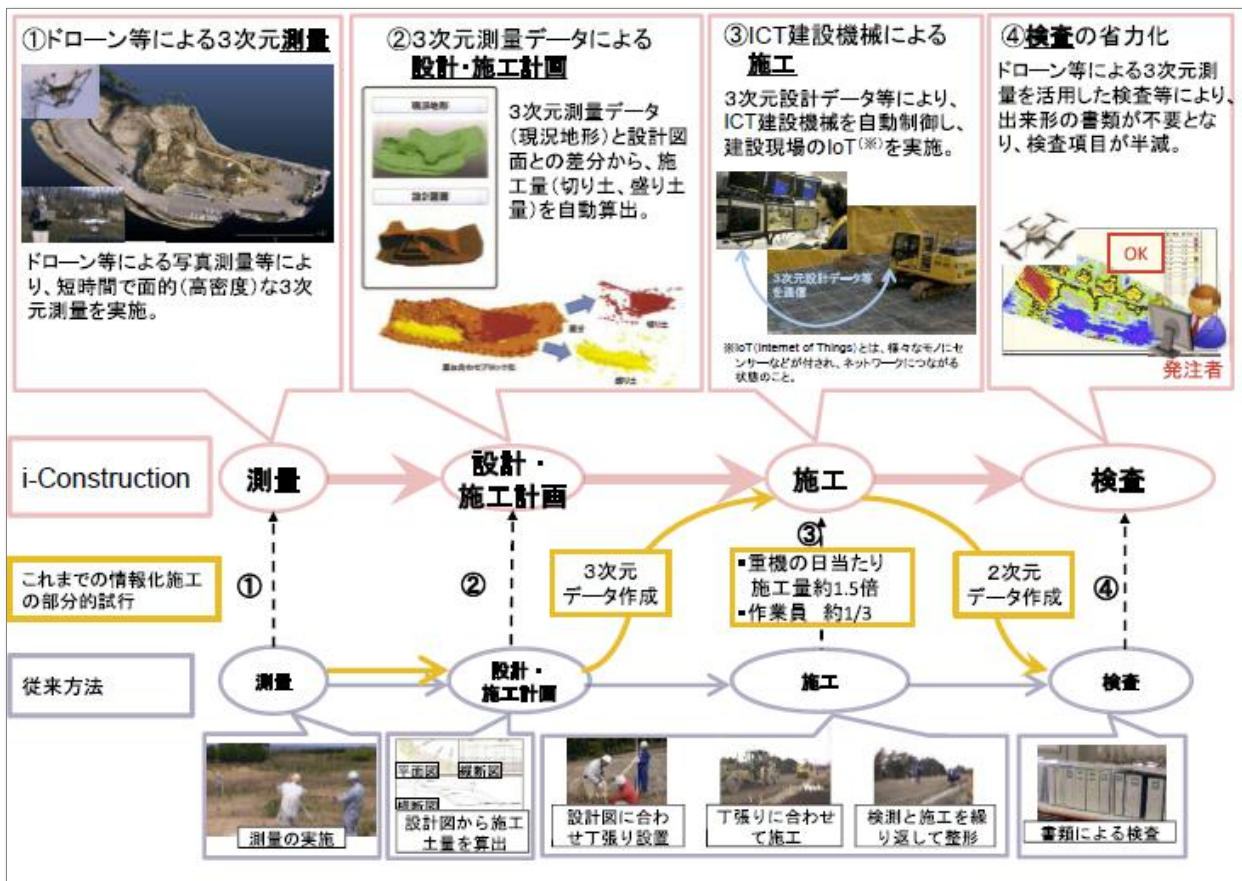
(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kensetsu-kikaku/i-con-sekou.html>)

愛知県では、2016年度から建設現場における生産性を向上させ、安全な建設現場を実現することを目指して、ICTを活用した工事を実施しています。

ICT建設機械に3次元データを入力し、衛星等により建設機械の位置を計測、自動制御により効率的に施工を行うことにより、これまでの施工方法と比べ、日当たり施工量の向上、建設機械周りの補助作業の軽減による安全性の向上や、丁張り設置作業、検測作業が不要になる等の効果が確認できています。

ICT活用工事の更なる普及に取り組むため、2018年度に設計や施工等に関わる関係業団体を交えて推進協議会を設置しており、2019年度は推進協議会で関係業団体等との意見交換・取組拡充の検討やICT現場見学会を行いました。

ICT活用工事（土工）の流れ



ICT活用工事の着工件数(2019年): 21件



【2-2 農林水産業の競争力の強化】

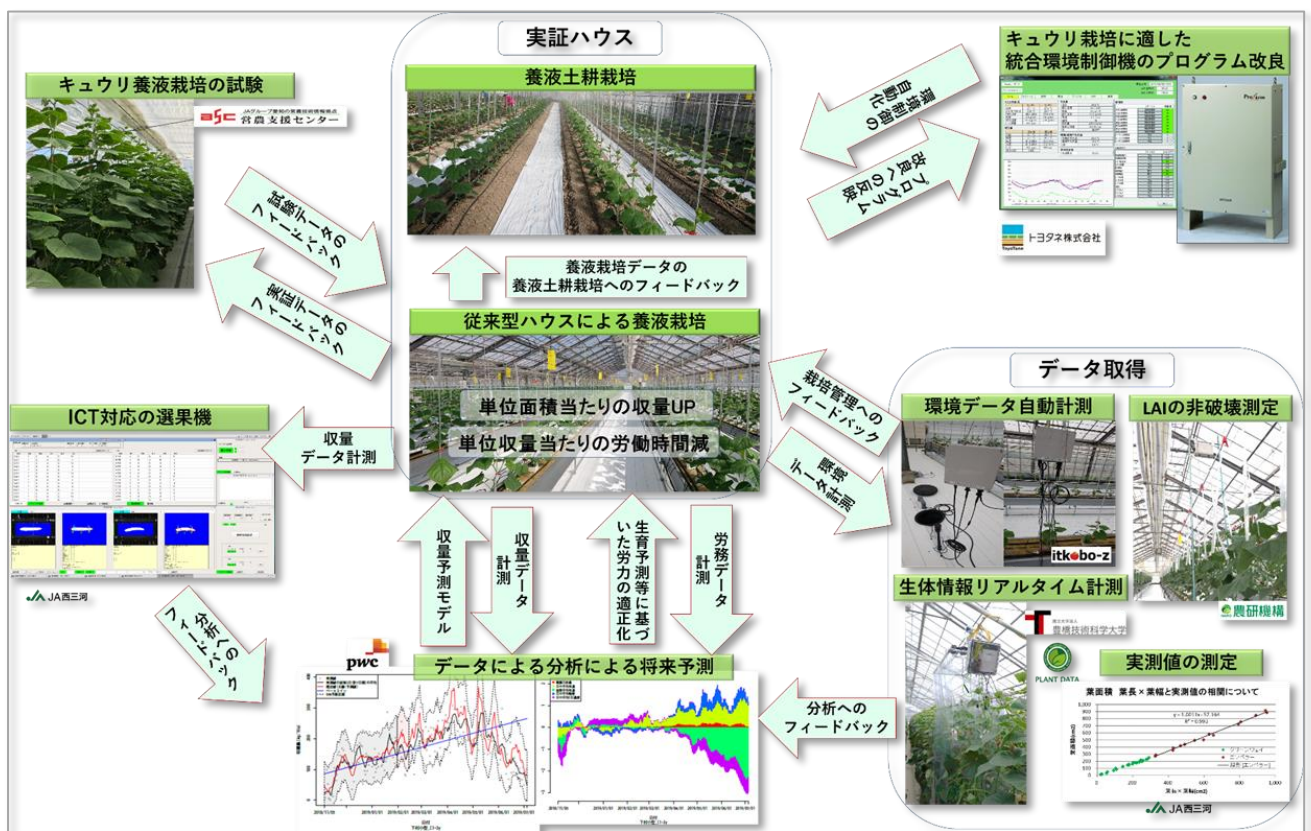
農業生産技術の開発・普及

○ 施設キュウリにおけるスマート農業実証

(http://www.naro.afrc.go.jp/smart-nogyo/subject/shisetsu_engai/131266.html)

本県農業の強みである施設園芸の更なる生産力向上を図るため、ICTを活用した生産技術により生産者の所得向上と産地全体のレベルアップを目指します。

2019年度は、大学等の研究機関や企業、農家と共同し、「ICTに基づく養液栽培から販売による施設キュウリのデータ駆動経営一貫体系の実証」に取り組みました。ICTの活用によって収集した栽培データ等の栽培管理へのフィードバック、統合環境制御機の改良による栽培環境の最適化、また、AI等により、生育・収量に関するデータの解析・予測を行い、出荷販売体系及び計画的に労働力を投入する作業体系をモデル化する取組を行いました。取得データや分析結果は広く共有し、キュウリ産地全体の経営発展に貢献します。



土地生産性の向上：10aあたりの収量3割向上
労働生産性の向上：収量1tあたりの労働時間10%削減



特産品のPR強化

- グルメサイトとタイアップし愛知県の食材を使用したメニューフェアを開催
(<https://www.pref.aichi.jp/shokuiku/report/index.html>)

愛知県産農林水産物のイメージアップと本県の主要品目のさらなるブランド力強化を推進するため、国内最大級のグルメサイト「食べログ」とのタイアップを行いました(2019.11.5~12.4)。

東京都内の飲食店 20 店舗で、うなぎ、名古屋コーチン、あさり、小麦(きぬあかり)、抹茶を使用したオリジナルメニューを提供するフェアを開催し、サイトを通じて県産食材をPRするとともに、メニューフェアの協力店に食材を実際に利用してもらうことでその優良品性をPRしました。

タイアップページの閲覧数：43,089回



効率的な森林整備

- あいちのスマート林業の推進
(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/rinmu/ictringyou.html>)

2018年度に作成した「あいちのICT林業活性化構想」に基づき、ICTを活用して木材生産や森林整備等の効率化、省力化に取り組み、県内の林業・木材産業の成長産業化を目指します。

2019年度は、林内路網配置のシミュレーションを行うための路網設計支援ソフトの開発、木材の生産性向上を図るためICTを活用した生産工程管理システムの構築、ICTによる新たな木材生産流通体制に向けた木材需給情報システムの検討を行いました。

木材生産量(2019年度)：139千m³



【2-3 ICTの新たなビジネスモデルの開発・人材育成】

ICTスキルを持つ人材の育成

- 「愛知県IoT推進ラボ」
(<https://www.pref.aichi.jp/site/aichi-pref-iot/>)

「愛知県IoT推進ラボ」では、愛知県内において、IoTの活用促進を図るため、これまで県が推進してきた自動車、ロボット、健康長寿などの産業分野を中心に、企業のIoTの活用を支援します。

2019年度には、製造業におけるIoT技術の導入・活用セミナー及び農業におけるIoT技術の導入・活用セミナーを開催しました。

2019年度のセミナー参加者：108名



III 暮らし安心・安全

社会生活の基盤となったICTを防災・防犯、医療、教育など、県民の暮らしに役立て、「暮らしの豊かさ」に繋げていくことが重要となっています。人口を維持し、暮らしやすい環境を守るため、地震や風水害への対策や、高齢者や女性・子どもへの防犯対策には、細やかな情報伝達が重要です。交通安全対策、健康づくりの推進など、超高齢化社会への対応も必要です。さまざまな地域の課題に対し、ICTを活用して取り組んでいきます。

【ICT戦略プランの施策項目】

項目	施策の展開
3-1 災害や犯罪に負けないまちづくり	・災害時における情報伝達 ・ネット犯罪対策 等
3-2 ITS・交通対策の推進	・ITS等の研究支援・普及・拡大
3-3 健康長寿あいちの実現	・企業等における健康経営の支援 ・地域包括ケア 等
3-4 女性の活躍促進・子育て支援	・ワーク・ライフ・バランスの推進 ・結婚・子育て支援 等
3-5 学ぶ楽しさ・生涯学習の実現	・魅力ある授業の実施 ・Web サイトを通じた学校・図書館・生涯学習情報の提供 等
3-6 「環境首都あいち」の実現	・エコアクションの促進 等

【3-1 災害や犯罪に負けないまちづくり】

災害時における情報伝達

- 水防テレメータ機器更新（再掲P5）

ネット犯罪対策

- サイバー犯罪対策通信の発行

(<https://www.pref.aichi.jp/police/anzen/cyber/>)

手口や対策を紹介する「サイバー犯罪対策通信」をホームページに掲載し、サイバー犯罪を未然に防止するための情報配信を行いました。



【3-2 ITS・交通対策の推進】

ITS等の研究支援・普及・拡大

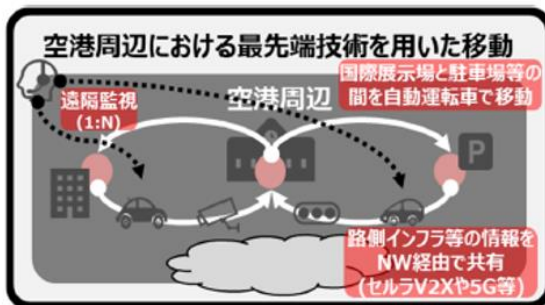
● 自動運転の実証実験

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/sangyoshinko/jidosha202001.html>)

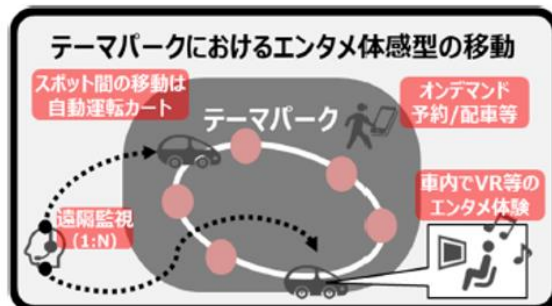
2019年度は、遠隔監視等の自動運転技術に加え、高精度衛星測位技術、AR（拡張現実）、顔認証システム等を掛け合わせ、具体的なビジネスモデルを想定した実証実験を実施しました。

自動運転社会実装実証のフィールドとテーマ

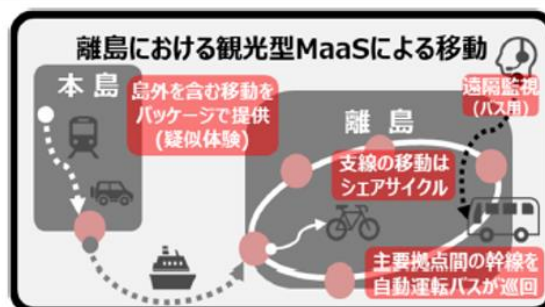
2019年度は3か所でテーマを設定し実施



2019/8/30, 9/2-4
愛知県空港島 国際展示場周辺



2019/11/13-14, 11/19-20
愛・地球博記念公園 (モリコロパーク)



2020/1/25-27
南知多町日間賀島



【3-3 健康長寿あいちの実現】

企業等における健康経営の支援

- 健康づくり支援アプリ「あいち健康プラス」の開発及び配信（2020年3月24日配信開始）
（<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kenkotaisaku/mileage-kenkouplus.html>）

「あいち健康プラス」は、日々の歩数記録、健康目標の設定、体重・血圧の記録など、生活習慣の改善及び健康管理を支援するアプリです。「あいち健康マイレージ（※）」と連携しており、健康づくりに取り組むことによりポイントを貯めることができます。

また、企業等が県に利用を申し込むことで、その従業員がサービスを利用できる「企業版」を用意しており、働く世代の健康づくりを支援する「健康経営」を推進するツールとしての活用が期待されます。

※あいち健康マイレージとは、2014年度から県と市町村が協働で実施する県民の主体的な健康づくりを応援するための新たな仕組みです。

設定されている健康づくりに関する項目（生活習慣の改善につながる取組の実践や、各種健診の受診など）に取り組むと、マイレージ（ポイント）を獲得することができ、一定以上のマイレージ獲得者には、県内の「協力店」で様々なサービス（特典）が受けられる「あいち健康づくり応援カード！～まいか」（優待カード）が交付されます。



地域包括ケア

● 認知症 VR 体験会の実施

認知症に理解の深いまちづくりの実現に向け、高校や大学、企業で認知症 VR 体験会を実施しました。体験会では、視空間障害や見当識障害といった認知症の中核症状を疑似体験し、体験後の意識の変化について話し合いました。

VRの技術を活用し、県民の認知症に対する偏見をなくし、理解の促進を図りました。



体験会の参加人数（全3回の合計）：125人

● LINE 公式アカウント「愛知県—新型コロナ対策パーソナルサポート」の運用

(<https://www.pref.aichi.jp/site/covid19-aichi/line-1.html>)

LINE 公式アカウントを開設し、登録者から提供された体調などの情報をもとに、一人ひとりに合わせた新型コロナウイルス感染症に関する情報提供や、チャットボットにより質問に自動応答を行うサービスを開始しました。



友だち登録者数：135,237人（2020年3月31日時点）



【3-4 女性の活躍促進・子育て支援】

ワーク・ライフ・バランスの推進

● 県職員のモバイルワーク及び在宅勤務の試行導入

県庁内での職員の多様な働き方・柔軟な働き方を選択できる職場環境の整備を図るため、ICT を利活用し、時間や場所にとらわれない柔軟な働き方ができる、テレワークの導入を検討してきました。2020年1月から、モバイルワーク及び在宅勤務の試行運用を開始しました。

テレワーク用端末導入数：100台

【3-5 学ぶ楽しさ・生涯学習の実現】

魅力ある授業の実施

● ICTの授業活用に関する研究

(<https://apec.aichi-c.ed.jp/>)

ICTの授業活用に関する研究を行い、愛知県総合教育センターの教育コンテンツの拡充を図っています。2019年度は、小学校では学習のまとめをブロック図で作成するなど、様々な教科の中でプログラミング学習が活用された実践例、中学校ではパソコンを用いてプログラムを作成した実践例が報告されました。また、高等学校や特別支援学校では、タブレット端末やアプリケーションソフトを活用する授業がより多くみられ、全体として児童生徒がICTを活用した授業に興味を示していた事例が多く報告されました。



【3-6 「環境首都あいち」の実現】

ゼロカーボンライフへの挑戦

● 家庭からのCO₂排出量や削減取組についての啓発動画作成

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/ondanka/co2movie2019.html>)

愛知県では、地球温暖化を防止するための「賢い選択」を促す「あいちCOOL CHOICE(クールチョイス)県民運動(※1)」を実施しており、その一環として、家庭で身近にできる省エネ行動の啓発動画を作成しました。

本動画は、2005年日本国際博覧会(通称：愛・地球博)の公式キャラクターであるモリゾー・キッコロとともに、家庭から排出されるCO₂を「見える化」し、その削減に向けた取組を紹介しています。県や市町村の環境イベント等で上映するとともにWeb配信し、地球温暖化対策を啓発しました。

(※1) 県民の皆様、日常生活のあらゆる場面で、省エネで低炭素な「行動」や「製品」などを選択するライフスタイルへの転換を促す県民運動。

動画再生数(2019年11月~2020年3月末): 558回



IV ICT 基盤強化

クラウドの普及、マイナンバー制度の導入、増大するサイバー攻撃の脅威など大きく変化するICT環境に適切に対応するとともに、ICTを活用した情報基盤のより一層効果的・効率的な運用が求められています。このため、自治体クラウドの推進やマイナンバー制度の導入などに際し、セキュリティを確保しつつ行政コストの低減や業務の改善を図っていきます。

【ICT 戦略プランの施策項目】

項目	施策の展開
4-1 自治体クラウドの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・庁内クラウド ・市町村におけるクラウド導入の支援
4-2 マイナンバー制度への対応、活用による業務プロセス改善	<ul style="list-style-type: none"> ・マイナンバー制度への対応 ・業務プロセス改善
4-3 情報システムの活用拡大、調達最適化	<ul style="list-style-type: none"> ・情報システムの活用・更新 ・情報システムの適正調達の推進

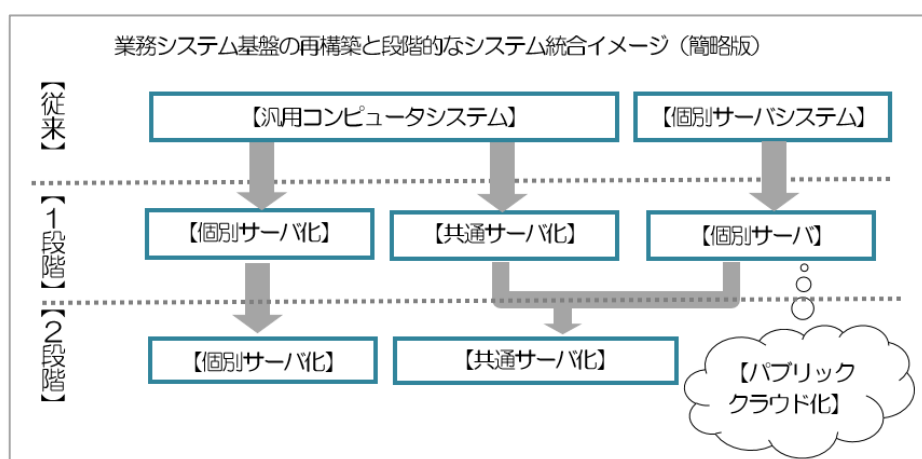
【4-1 自治体クラウドの推進】

庁内クラウド

● 庁内クラウドへの移行

IT経費の削減、情報システムの安定的な稼働及び効率化を目的とし、汎用コンピュータに換わる業務システム基盤として共通サーバシステム（庁内クラウド）を2014年4月から稼働しています。

2019年度は7システムを庁内クラウド上に移行し、2019年度末時点で60システムを庁内クラウド上で運用しています。庁内クラウドへのシステム移行により、各課で行う業務のシステム運用経費の削減につながりました。



【4-2 マイナンバー制度への対応、活用による業務プロセス改善】

マイナンバー制度への対応

○ マイナンバー制度への対応

マイナンバーを用いた情報連携開始後初めての大幅な「データ標準レイアウト」の改版が2019年6月に行われ、情報政策課はマイナンバー制度に関係する事務を所管する課室の対応支援を行いました。特に、2019年度は日本年金機構等との情報連携が開始され、システム改修や副本の再登録等の必要な準備作業に支障が出ないように、情報政策課は全体管理等を行いました。

また、2020年度は国が実施する消費税率引上げに伴う反動減対策として、マイナンバーカードのマイキー部分を使用した「マイナポイント」による消費活性化策が予定されています。マイキー部分を用いる際の共通情報基盤である「マイキープラットフォーム」の効果的な事業運用のため「マイキープラットフォーム運用協議会」が設立されており、県内においては、2020年3月時点で38市町が参加しています。



【4-3 情報システムの活用拡大、調達最適化】

情報システムの活用・更新

○ 音声認識システムの導入

愛知県庁内の共通業務を効率化し、総勤務時間の縮減を図るため、会議録作成事務の省力化に資する音声認識システムを2019年4月から本格導入しました。

システムを利用した136件のうち、119件(87.5%)で効果が認められ、平均285分(47%)の作業時間が削減されました。

利用件数：136件
会議録作成時間の削減効果：47%

○ 会議のペーパーレス化を支援する機器の導入

愛知県庁の庁内会議の効率的な運営及び環境負荷軽減のため、タブレット端末で会議資料を閲覧できるペーパーレス会議システムを配備しました。2019年度は、本庁で行う会議のうち74回の利用により、約3万7千枚の用紙を削減しました。

ペーパーレス会議の開催：74回
用紙削減枚数：約3万7千枚

● RPA 試行導入による行政事務の効率化

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/somubu-somu/rpa.html>)

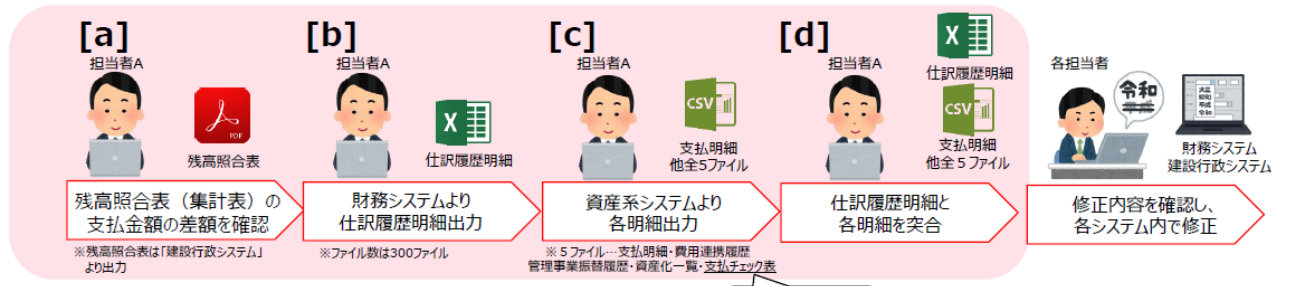
民間事業者と共同で、RPA 試行導入による愛知県庁内の行政事務の効率化を実施しました。2018 年は総務課内の庶務・経理関係の4業務を対象に実証実験を行いました。2019 年は給付・手当、許認可業務などの6業務を対象を広げました。削減率は最大で 99%、年間換算削減時間は6業務の合計で約 850 時間の効果が得られました。

今後は本格導入を見据え、RPA に適した業務を見極めるための業務プロセスの見直しや、職員を対象とした研修会を実施する予定です。

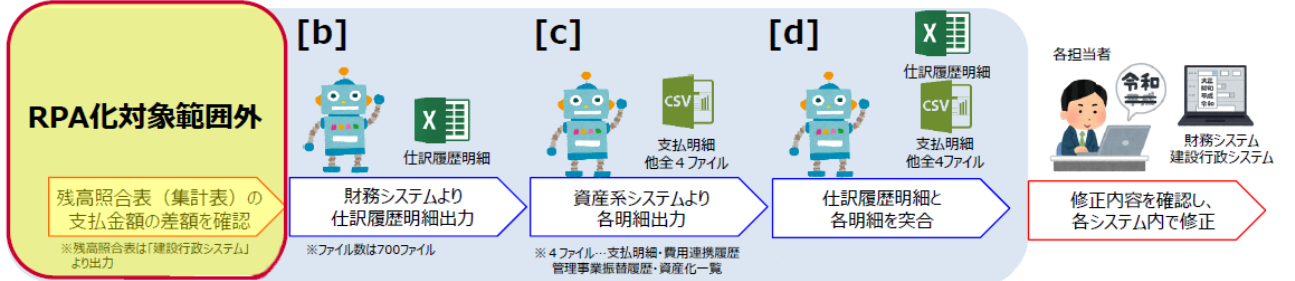
(注 RPA : Robotic Process Automation の略。パソコン上で定型業務を自動処理するプログラム。)

- 業務概要：毎年度決算時期において、財務システムに登録されている資産情報と資産系システムに登録されている資産情報の照合を行い、差額の解消を行う。
- 業務頻度：20回/年 ※実施期間：3カ月(4月～6月)

Before



After



対象業務：6業務
業務時間の削減効果：最大 99%



V データ社会への対応

今後ますます急速に進行する「データ社会」に対応するため、行政が保有する統計情報などの様々なビッグデータや民間企業・大学などの研究機関等が保有するビッグデータの分析・解析結果を、県の計画策定や施策立案等の行政運用にも活用していきます。また、進化するIoTへの対応を見据え、新たな産業の創出に役立てるよう、県が保有するデータを広く公開するオープンデータを推進します。

【ICT 戦略プランの施策項目】

項目	施策の展開
5-1 オープンデータの推進	・オープンデータの推進
5-2 ビッグデータの活用	・ビッグデータの活用
5-3 IoTへの対応	・IoTへの対応

【5-1 オープンデータの推進】

オープンデータの推進

- オープンデータカタログの充実
(<https://www.pref.aichi.jp/life/7/>)

2019年度末時点での公開ジャンル数は45増えて163件、公開データ数は1,410件増えて、4,536件となりました。今後も公開データ数の増加を図っていきます。



また、県と県内市町村（名古屋市を除く）で設立した「あいち電子自治体推進協議会」が2017年3月に開設した、「あいち電子自治体推進協議会オープンデータカタログ」(<http://www.e-aichi.jp/opendata.html>)と相互リンクを設定しています。このWebサイトは、愛知県と県内市町村が提供するオープンデータの一覧を見ることができ、各自治体のオープンデータのページに遷移できるようになっています。

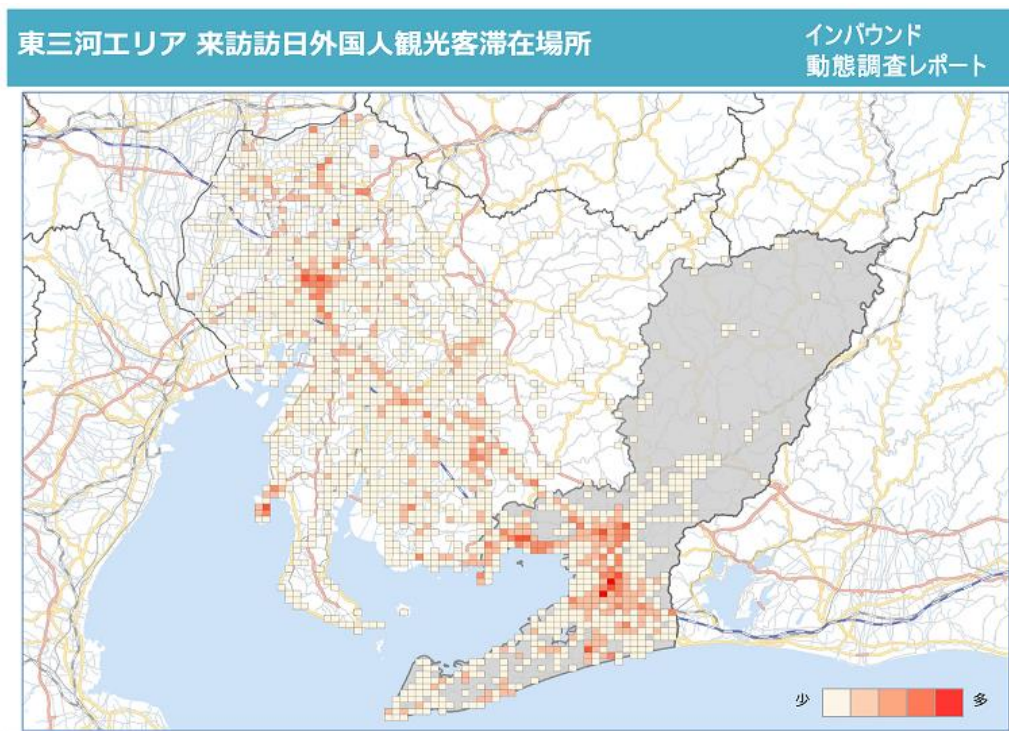


【5-2 ビッグデータの活用】

ビッグデータの活用

● 観光客の動態調査

民間企業が保有するビッグデータを活用し、東三河地域に訪れる観光客の動態調査を行いました。観光客の旅行目的や嗜好等は多様化しており、これらの変化に柔軟かつ的確に対応することで、地域振興、観光振興に大きな効果を得る狙いがあります。市町村域を超えた広域的な来訪者や外国人来訪者の行動パターン、趣向等の動態を客観的に把握し、広域観光施策及び各市町村の観光施策に活用していきます。



調査内容

性年齢層分析	性別／年齢層ごとの来訪者を算出
旅程／宿泊分析	旅程／宿泊ごとの来訪者数を算出
発地分析	発地地域、都道府県、市町村ごとの来訪者数を算出
宿泊地分析	宿泊した市町村ごとの来訪者を算出
滞在時間分析	昼間の平均滞在時間を算出
交通手段分析	交通手段ごとの来訪者数を算出
交通結節点分析	交通結節点ごとの来訪者数を算出

調査項目数：
14 項目

【5-3 IoTへの対応】

IoTへの対応

● 「愛知県IoT推進うポ」(再掲P14)

(参考) 取組を紹介した Web サイトの一覧

◆あいち ICT 戦略プラン 2020

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/joho/plan2020-1.html>

愛知県の情報通信を活用した施策の総合計画です。

◆あいちビジョン 2020

<https://www.pref.aichi.jp/kikaku/aichivision2020color/aichivision2020color.html>

2030 年頃の社会経済を展望し、2020 年までに取り組むべき重点的な戦略を明らかにするとともに、県内各地域の取組方向を示す「あいちビジョン 2020」について掲載しています。

◆G20 愛知・名古屋外務大臣会合推進協議会 Web サイトについて

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kokusai/2019g20aichi-nagoya.html>

G20 愛知・名古屋外務大臣会合が終了したことに伴い、G20 愛知・名古屋外務大臣会合推進協議会の Web サイトは 2019 年 12 月 31 日（火曜日）をもって閉鎖しています。開設していた Web サイトの内容は上記のページからご覧いただけます。

◆愛知県 川の防災情報

<https://www.kasen-aichi.jp/>

風水害による被害の防止、軽減を目指し、雨量や県管理河川の水位、河川監視カメラの画像情報等をインターネット配信しています。

◆「愛知高原・奥三河の唄」スペシャル動画及び愛知高原・奥三河の PR 動画

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/shichoson/aichikougenokumikawadouga.html>

動画について掲載しています。視聴できるサイトも紹介しています。

◆愛知県の公式観光ガイド AichiNow

<https://www.aichi-now.jp/>

旬のイベントや観光スポット、地域にまつわるコラムなど、愛知県の観光情報を幅広く発信する Web サイトです。各施設のバリアフリー状況も掲載しています。

◆愛知県が開発した外国人旅行者向け無料公衆無線 LAN 接続簡易化アプリ「AICHI Free Wi-Fi Connect」

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kokusai-kanko/aichi-free-wifi-connect2019.html>

無料公衆無線 LAN を簡易に把握し、接続することができる外国人旅行者向けの多言語アプリの概要について掲載しています。

◆愛知県のスポーツ情報ポータルサイト aispo!web

<http://aichi-sports.jp/>

県内で開催される各種スポーツ大会の参加者や観戦者の増加及び本県のプロスポーツチーム・実業団スポーツチームのファンや試合観戦者の拡大のため、Web サイトや SNS を活用した情報発信を行います。

◆あいちトリエンナーレ

<https://aichitriennale2010-2019.jp/>

愛知県で3年に1度開催される国内最大級の国際芸術祭である「あいちトリエンナーレ」のアーカイブです。

◆愛知の住みやすさ発信サイト

<https://www.pref.aichi.jp/chiho-sosei/sumiyasusa/>

「愛知の住みやすさ」を統計データ等で紹介しています。

◆知の拠点あいち 重点研究プロジェクト

<http://www.astf-kha.jp/project/>

知の拠点あいち重点研究プロジェクトについて掲載しています。

◆あいちSTEM教育推進事業

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kotogakko/aitistem1.html>

あいちSTEM教育推進事業の概要について掲載しています。

◆施工の情報化

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kensetsu-kikaku/i-con-sekou.html>

ICT活用工事に関する取組について掲載しています。

◆スマート農業実証プロジェクト 施E03 JA西三河きゅうり部会生産者(愛知県西尾市)

http://www.naro.affrc.go.jp/smart-nogyo/subject/shisetsu_engei/131266.html

ICTに基づく施設キュウリ栽培の実証実験について掲載されています。

◆あいち農産物生産流通レポート

<https://www.pref.aichi.jp/shokuiku/report/index.html>

県の農産物に関する取組についてのレポートです。(本レポート(P14)に掲載した「特産品のPR強化」の取組は令和2年3月号に掲載)

◆あいちのスマート林業の推進

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/rinmu/ictringyou.html>

あいちのICT林業活性化構想について掲載しています。

◆愛知県IoT推進ラボ

<https://www.pref.aichi.jp/site/aichi-pref-iot/>

「愛知県IoT推進ラボ」についての情報を掲載しています。

◆愛知県警察 サイバー犯罪対策

<https://www.pref.aichi.jp/police/anzen/cyber/>

サイバー犯罪に関する啓発資料や、よくある相談と対応方法等を紹介しています。

◆自動車産業の振興

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/sangyoshinko/jidosha202001.html>

自動運転の実証実験結果について掲載しています。

◆健康マイレージ連携アプリ「あいち健康プラス」

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kenkotaisaku/kenko-keiei-app.html>

アプリの概要について紹介しています。

◆愛知県—新型コロナ対策パーソナルサポート

<https://www.pref.aichi.jp/site/covid19-aichi/line-1.html>

愛知県 LINE 公式アカウント「愛知県—新型コロナ対策パーソナルサポート」のページです。
一人ひとりに合わせた新型コロナ対策を LINE でサポートします。

◆愛知総合教育センター

<https://apec.aichi-c.ed.jp/>

ICT を活用した授業実践の報告について掲載しています。

◆CO₂削減取組の啓発動画

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/ondanka/co2movie2019.html>

家庭からの CO₂ 排出量や CO₂ 削減取組について学べる啓発動画を掲載しています。

◆RPA を活用した業務の効率化

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/somubu-somu/rpa.html>

RPA 導入による行政事務の効率化の取組について掲載しています。

◆愛知県オープンデータカタログ

<https://www.pref.aichi.jp/life/7/>

愛知県が所管する情報の提供サービスを行っています。

◆あいち電子自治体推進協議会オープンデータカタログ

<http://www.e-aichi.jp/opendata.html>

愛知県と県内市町村がオープンデータとして提供しているデータのまとめサイトです。